

海風通信

発行者 : 学校法人 了德寺大学
 理事長 了德寺健二
 〒279-8567 千葉県浦安市明海5丁目8番1号
 TEL : 047(382)2111 (代表)

未来を創る君たちへ

卒業生のみなさんへ『知力を磨け!』	2-3
学校法人了德寺大学		
理事長 学長		了德寺 健二
AIの時代を生き抜く知恵を	4-5
医学教育センター		木谷 誠一
理学療法学科の卒業生に贈る言葉	6-7
理学療法学科		加藤 宗規
卒業生のみなさんへ	8-9
整復医療・トレーナー学科		神長 まどか
一つ一つ目標の達成が成長につながる	10
看護学科卒業生		渡邊 果奈
卒業を迎える皆様へ ~やりたいことはできるときに~	11
理学療法学科卒業生		坂詰 麗
私が学生生活を通して学んだこと	12
学友会会長		渡邊 響
読書案内	13
電子資料のご案内	14-16

卒業生の皆様へ 『知力を磨け!』

学校法人了徳寺大学
理事長 学長 了徳寺 健二

了徳寺大学のテーマは「不老長寿」でした。今は長じて、『若返り革命』です。

何故なら今、了徳寺大学は老眼や白内障などの老化現象とされる疾病や顔のシミを治したりして、人体が若返る医療技術を発見したのです。

私たちの若返りや寿命に影響を与える条件は、了徳寺大学の長年の研究によっておよそ判明しつつあります。了徳寺大学の不老長寿は不老つまり老化に抗(あらが)い、長寿を成し遂げるということでした。

研究を進めるうちに、人体が若返ることができたなら病気になる以前の状態に戻ることであり、病気は治るという気付きがあったのです。

ストレスフリー療法によって、何故若返りが起きるのか。それは、次のような変化が起こるからです。

- ① 血中のストレスホルモンコルチゾールを低減させ、大幅な血流増幅の実現
- ② 自身の内部からの成長ホルモンの分泌亢進
- ③ 成長ホルモンの分泌亢進によって起こるミトコンドリア細胞分裂誘導による若返りと活性化
- ④ 成長ホルモンの分泌亢進によって細胞の細胞分裂の誘導による若返りと活性化
- ⑤ 女性ホルモン エストロゲンの自身の内部からの分泌亢進
- ⑥ 体温上昇(正常化)
- ⑦ 酸化ストレスを正常化する
- ⑧ 血液PHの正常化
- ⑨ インターロイキン10(IL-10)の活性化

人体が若返りできる条件は、およそこの9項目です。どの条件も欠かせません。

なかんずく、これらの条件の中でも必須は血流増幅と自身の内部からの成長ホルモンとエストロゲンの分泌亢進です。

全身の細胞の活性化とその総和によって起こる体温上昇は、若返りや免疫力向上に必須であると言えます。加えて言うなら、どんな秘薬をもってしても低体温下や、高酸化ストレス環境、血液のPHの正常化なくして病気を治すのは困難と言えます。

了徳寺大学の研究は現代医学的な、例えば、血圧が高いと降圧剤を投与して血圧を下げるというような短絡的な技術ではありません。

現代医学が成し得ない前述の9項目は、正に老化と全ての病気の予防や改善に必須です。

ストレスフリー療法は、先述した多重・多層的な戦略的に構成された高度な医療技術システムであり、これを私たちは「Multiplex Medical Technology System」、略して『MMTシステム療法』としました。

人類の古(いにしえ)からの願いである若返りの秘薬は、自身の内部から沸き上がる成長ホルモンとエストロゲンであり、ガンや認知症、難病パーキンソン病や緑内障、はたまた老化現象とされる老眼や白内障などの予防や改善に酸化ストレスを低減させ、血液のPHを正常化させるストレスフリーMMTシステム療法は、極めて有効であり、必須であることがわかります。

卒業生の皆様にお伝えしたいことは、世界が震撼するこの9つの条項が、老化を防ぎ、若返りを起こす条件だということです。

しかしながら、この9つの条項各々を、現代医学は成し得ません。

医学の到達点を思われる9つの条項を12年の歳月をかけて研究開発できたのです。

私に研究の指南者はあるはずもなく、医学書と研究論文を読みあさり、独学と長考によって成し得たのです。

皆様方にお伝えしたいのは、人生を拓き成功する原則は、私が常に心掛けてきた

「知力を磨くこと」、「すぐやる、出来るまでやり抜く」、「ネバーギブアップ」の3項目です。

この3項目を大事にして、皆様の各々の人生を切り拓いていただくよう祈念いたします。

2022.1.31



AIの時代を生き抜く知恵を

医学教育センター
保健管理センター長 木谷 誠一

卒業おめでとうございます。学びの4年間、短いようで長く、長いようで短い4年間です。この4年間、集中豪雨、台風や地震等の災害がない年はありませんでした。2019年には平成から令和へと年号が変わり、消費税が10%になりました。2020年から2021年には、新型コロナウイルスの感染の拡大に伴い緊急事態宣言が出されました。講義や臨床実習の変更が余儀なくされました。ワクチン接種が広範囲で行われてきました。その中で、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本学のウルフ・アロンさんが柔道で金メダル獲得したという明るいニュースもありました。

さて、ここで、未来に向けて、コミュニティの重要性について考えてみましょう。現在、むら社会から都市社会そしてネットワーク中心のコミュニティへと進行しています。いよいよAI(人工知能)の時代がやってくるのが実感されています。PCやスマートフォンが普及し、必要なこと(情報)や必要なもの(通販)は、インターネットで十分だと考えることは、それはそれで、究めて効率的です。

しかしネットの時代になっても、読書の大切さは、捨て去ることはできません。ネットの情報には確かに、新鮮なものではありますが、自分の興味にのみに沿って、自分が望む解答を求めるのみであれば、そこには選択バイアスのある情報を見ていることとなります。最初から匿名での誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)等の無責任でバイアスのかかった情報が、発信されていることもあります。

また、ネットの情報は、日々更新されて脈絡も絶たれて断片的になります。プラスの側面とマイナスの面を複合的に考える能力が必要です。情報よりも、知識を整理し概念を構築することが大切です。知識のあらゆるレベルに、文脈(論理)があり、歴史が(もっと言えば地域の伝統)があります。現場で諸問題を意識し、いつでも一目瞭然に俯瞰でき、かつ手元で反復参照できるのは、読書による学習なのです。ネットコミュニティを、地域に再度フィードバックする、いわば“地域への帰還作業”が求められています。



古代ギリシャのオリンピック風景

あらためて、もう一度、卒業生の皆さんに、心より御祝いを申し上げます。“御卒業おめでとうございます。”講義や試験に臨む前の緊張感で、海のみえる大学キャンパス広場、あるいは校舎2階のラウンジで過ごしたと思います。そこからは、海からの風が総合公園の防風林の動きでわかります。また、6階の学生食堂からは、一息ついて友達なり一人でもリラックスした気分で眼下に見渡す東京湾の光の散乱や輻輳（ふくそう）する船の連なり等々、海も様々な表情を向けて、皆さんを鼓舞してきたと思います。

皆さんは、国家試験に合格して、免許を申請し、登録し、それぞれの医療プロフェッショナルとして、キャリアを開始する重要な地点に差し掛かっています。社会に出て、これまで学んだ実践知識や、組織における役割や職場における対人関係等々、新入スタッフとして、オリエンテーション教育を受けると思います。職場や臨床現場で十分学んでください。今後の医療・保健・福祉の課題解決に、地域保健に期待がかかっています。遭遇した現場の事例を十分咀嚼して、多くの情報から、適正な知識にまで高め、AIの時代を生き抜く知恵を培（つちか）ってください。



理学療法学科の卒業生に贈る言葉

理学療法学科 副学科長 加藤 宗規

2021年度の理学療法学科卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。4月からほとんどの皆さんは理学療法士として社会に出て、対象とする方々の理学療法サービスを提供する業務に従事することと思います。きっと入学時からの目標であった理学療法士になった喜び、実際に理学療法サービスを提供できる楽しみに気持ちが高ぶっていることと察しますが、一方でプロとして利用者が求める成果を上げることができるかどうか不安を抱いていることでしょう。それは誰もが抱く気持ちであり、先輩たちもみんな経験し、乗り越えてきた道です。今頃は職場の先輩たちが業務多忙のなかでも時間を割いて行ってくれる新人教育を数ヶ月にわたり提供してくれますが、先輩方に感謝の気持ちを忘れずに、一日も早く一人前の理学療法士として利用者に最適・最善のサービスを提供できる努力をぜひ自らもしてください。

私が臨床で意識していたのは、「自分が利用者に提供したサービスは、自分あるいは自分の家族が理学療法サービスを受けることになったとしたら受けたいものであるか?」ということです。自分が受けたい、家族に受けさせたいサービスならば、間違いなく最適・最善であるはずですが、それから、「学校で学んだ知識と技術、国家試験を合格した知識と技術だけでは、臨床業務をやっていくには不足である」、および「脳卒中のリハビリテーションは患者と家族の生活だけでなく人生も変えてしまう」との想いです。もちろん、知識と技術に関しては、職場の新人教育による知識・技術を加えても不足は否めません。ですから、国家試験翌日の労働法セミナーでも“働き方改革”、“ワーク・ライフ・バランス”、“労働者の権利”について説明を受けたと思いますが、その行使には「プロの理学療法士として業務にあたるのに必要な知識と技術を有しているという“義務”を果たす」ことが前提であるくらいの意気込みを持っていると頼もしく思います。「日本国民には権利もあるが、義務もある」のと同じなのだと思います。なお、日本国民の三大義務は「教育、勤労、納税」、三大権利は「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利、教育を受ける権利、政治に参加する権利」です。



私は「理学療法士はとても魅力とやりがいが高く、素晴らしい仕事である」と確信しています。そして、この世を去るときには、「理学療法士になってよかった」と思いたいと考えています。かっこよく言えば、あとに続くひとりでも多くの次世代を担う人たちにも感じてもらうために臨床から教育の場に身を移しました。ですから、ぜひ皆さんもそのように思ってもらえることを願っています。

とは言うものの、趣味は？と聞かれたら、迷わず“理学療法”と答えてしまう私のようにする必要はなく、皆さんには理学療法だけに終わらず、大いに趣味、恋愛、家庭なども充実した人生を歩んで欲しいと願っています。今度生まれてくるとしても、やはり理学療法士になりたいと私は思いますが、次は理学療法だけで終わらず、趣味、恋愛、家庭なども充実できるように挑戦していきたいと思います。もちろん、理学療法とは別の分野に進んだ人たちにも、了徳寺大学で学んだことはきっと役に立つはずですので、ムダだったと考えずに活かしてください。

結びとして、他にない唯一無二の存在、One and onlyの大学である「了徳寺大学」で学んだ自信と誇り、そして夢と希望」を胸に抱き、人生を咲かせてください。またいつかどこかで皆さんと会うことができる日を楽しみにしています。皆さんはよく頑張ったと思います。心から卒業を祝福します。



心を越くする！



TOKYO公式2020
オリンピック公式記録集

2021年に開催されたTokyo2020オリンピックの全記録の感動が美しい写真で鮮明によみがえる。



最後の「愛してる」

19歳でガンを患い、余命宣告を受けた山下弘子さん(享年25)。病に負けず、全力で“今”を生き抜く姿。生と愛を考える書。



卒業を迎える皆さんへ

整復医療・トレーナー学科 神長まどか

卒業を迎える皆さんへ。

私の大好きな作家、益田ミリさんの『週末、森で』という作品のお気に入りの部分を紹介します。

この物語の主人公は、都会生まれ都会育ちの翻訳家「早川さん」という女性です。早川さんはふと思いついて、森がすぐそばにある田舎の一軒家に引っ越します。早川さんは田舎に引っ越したからと言ってやたらと「田舎らしい」生活をすることはありません。あくまでも住む所が変わっただけです。そんな早川さんのお家には、週末になると都会から友達が遊びにやってきます。あるとき森の湖でカヤックに挑戦するのですが、なかなか思うとおりに進まないカヤックにてこずる友達に早川さんは、「手もとばかり見ないで、自分が行きたい場所を見ながら漕ぐと近づけるよ」とアドバイスするのです。

私は、自分がどこに向かっているのかわからなくなったとき、毎日が辛くて「もう嫌だ」という気持ちで頭がいっぱいになったとき、この早川さんの言葉を思い出します。人生というカヤックにてこずっているときに、自分や行きたい場所(将来の目標)をしっかりと意識し、その目標に向かって進むことで、自分の人生を切り拓いていくことができました。

私は柔整の専門学校生の頃、アルバイト先の接骨院で人間関係に悩み、柔道整復師になりたいという目標を見失いかけたことがありました。でも、その時、「柔道整復師になって、一人でも多くの患者さんと一緒に笑顔になりたい」という柔道整復師を目指したときの気持ちを思い出し、小さな職場の人間関係にとらわれるより、自分の理想とする柔道整復師になるための目標に向かって進むべきだと決断しました。そうして自分の目標に近づくために知識や技術を磨くことに集中できる環境に身を移し、努力を重ねてきました。その努力の延長線上に今の私があります。

皆さんもこれから新しい環境に入ると、覚えることも業務も山盛りで、目まぐるしく過ぎていく日々の中で自分を見失いかけるときがあるかもしれません。そんなときは、手もと(苦しい現状)ばかりを見ずに自分の生きたい場所(目標)を思い出してみるといいかもしれません。その結果、「今はここで頑張る時だ」とか、「方向転換してみるか」とか自分なりに判断し、前に進むことができると思います。そうやって軌道修正を繰り返しながら、後悔のない自分らしい人生を漕いでいってください。回り道をして、時間がかかっても、きっと自分の生きたい場所にたどり着けると信じています。